

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	02	0403	児童・生徒表彰事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-2 学校教育の充実			
	施策	2 豊かな人間性の育成			
目的	知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成に寄与するため、体育文化等の活動において、顕著な成績を収めた児童生徒を表彰する。				
対象	花巻市立小・中学校に在学する児童生徒				
意図	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活における意欲を高める ・各種大会やコンクール、伝承活動への積極的な取り組みを推進する 				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○児童・生徒栄誉賞授与式	児童生徒の体育・文化等の対外的活動において、花巻市の教育向上に資する顕著な成果を収めたものについて、その栄誉をたたえることを目的に児童・生徒栄誉賞授与式を実施				
【26年度実施】	<ul style="list-style-type: none"> ・期日 平成27年2月6日（金） ・会場 花巻市文化会館 大ホール ・受賞者数 23団体（256人）と個人240人 				
【25年度実施】	<ul style="list-style-type: none"> ・期日 平成26年2月6日（木） ・会場 花巻市文化会館 大ホール ・受賞者数 52団体（332人）と個人244人 				
市民参画の有無	[対象外]				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 学校数	校	計画	30	30	30
		実績	30	30	
② 花巻市内児童生徒数	人	計画	8,100	7,819	7,707
		実績	8,048	7,797	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 児童生徒栄誉賞受賞者数	人	目標	650	400	400
		実績	576	496	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 平成26年度に表彰基準を見直したことに伴い、受賞団体数が減少している。今まで、表彰基準に該当する団体があった場合、所属する一人ひとりを表彰していたが、平成26年度からは団体に対してのみ、賞状を渡すことに変更した。このことにより、受賞者数が大幅に減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内全児童生徒を対象にした表彰という点で、類似事業はなく、スポーツ及び文化的分野で優秀な成績を収めた者を集めて表彰を行うことは、互いの切磋琢磨の向上に寄与するところが大きく、他に代替するものはない。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	児童生徒数、クラブやチーム数が減少していく中で、地域の伝承芸能の継承活動など、特色ある活動を継続・推進していく後押しとなるのが肝要である。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	賞状及び受賞者名簿の印刷費と、バスの借上げ料が主な経費であるため、事業費の削減余地はない。人権費においても、事業の内容が個人情報等を取り扱うことから、委託等に馴染まないと思われる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	花巻市内の全児童生徒を対象に、同一基準にて選考しているため公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
表彰を受ける児童生徒が一堂に会することで、他の児童生徒の優れた成績に刺激を受け、更に飛躍する気持ちを高めることが出来ることから、今後も継続して実施する必要がある。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	01	02	0403	児童・生徒表彰事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		800	758		△ 42
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	800	758		△ 42

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標

夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯

各学校において、各種大会やコンクール、伝統芸能等への積極的な取り組みを行っていたが、その活動等において顕著な成果を収めた児童生徒を表彰し、意欲を高めるため、昭和60年度より事業を実施した。

事業概要

○児童・生徒栄誉賞授与式

児童生徒の体育・文化等の対外的活動において、花巻市の教育向上に資する顕著な成果を収めたものについて、その栄誉をたたえることを目的に児童・生徒栄誉賞授与式を実施

【26年度実施】

- ・期日 平成27年2月6日（金）
- ・会場 花巻市文化会館 大ホール
- ・受賞者数 23団体（256人）と個人240人

【25年度実施】

- ・期日 平成26年2月6日（木）
- ・会場 花巻市文化会館 大ホール
- ・受賞者数 52団体（332人）と個人244人

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

子どもたちが各種活動へ取り組む際の動機づけとして有効であり、また成功体験の機会としても貴重であることから、是非とも継続して欲しいという学校・家庭・地域からの要望がある。ただし、従来通りの方法では、向上心の動機づけが弱い面もあり、事業方針の見直しを求められている。

担当部署 部名 教育部 課名 小中学校課 担当係長 大川広行 内線 9-30334

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

～児童生徒栄誉賞表彰式～

- ・花巻市文化会館で実施
- ・当該年度において優秀な成績を収めた児童生徒を表彰

受賞しなかった児童生徒が、『自分も受賞したい』と思うことにより、向上心の動機づけとなる。

【表彰基準（抜粋）】

- 体育的分野及び文化的分野
 - ア 岩手県、東北又は全国的規模の公的な競技大会において優秀な成績を収めたもの（全国規模第8位以内、東北規模第3位以内、岩手県規模第1位又は県記録更新）
 - イ アに準じる顕著な成績を収めたもの（市中学校陸競技大会記録更新など）
 - ウ その他、学校長が優秀と認めて推薦したもの
- 善行・努力的分野
 - ア 地道な努力を継続して実践し、他の模範となる活動を行ったもの（伝統芸能継承活動、早起きマラソン6年間及び9年間皆勤賞）
 - イ その他、学校長が優秀と認めて推薦したもの

【H26年度の成績等（抜粋）】

- ・ 第24回NPO法人東北青少年音楽コンクール本選会 銀賞
- ・ 第11回岩手県小学生ロードレースリレー大会 優勝
- ・ 第61回岩手県中学校総合体育大会剣道競技 男子個人第1位
- ・ 花巻市早起きマラソン 9年間皆勤賞
- ・ 伝統芸能 早池峰大償流土沢山伏神楽の伝承 ほか

【事業費の内訳】

- ・ 消耗品費 107千円
 - 児童生徒栄誉賞用生花
 - 事務用消耗品
- ・ 印刷製本費 403千円
 - 賞状350枚、名簿600部
- ・ 修繕料 5千円
 - 表彰式用看板修繕料
- ・ 自動車借上げ料 243千円
 - バス借上げ料 大型2台、中型各6台
 - タクシー1台（市バス3台も併用）

【H26表彰基準見直しの要旨】

- ①団体の表彰方法の変更
 - ・ 表彰基準に該当する団体があった場合、所属する一人ひとり表彰していたが、団体に対してのみ賞状を渡すこととする。
- ②表彰者の周知について
 - ・ 被表彰者が多いため、広報に掲載することが困難であったが、被表彰が減少することにより広報を利用しての周知が可能となった。